

## 1 部門目標

収容不能例を入院依頼の 17%以下にする。

## 2 業務体制・スタッフ

医師のスタッフは総括部長の大塚春美、部長の今井郁子、岩松利至、鈴木康浩と、千葉大学医学部附属病院から出張の大橋美香の 5 名です。臨床心理士は藤嶋加奈です。東京女子医大本院より後期研修医の水落清（H28 年 12 月～H29 年 5 月）院内小児科より藤本遼（H29 年 4 月～9 月）、仲村あずさ（H29 年 10 月～H30 年 3 月）が加わりました。公平愛生（H29 年 10 月～H30 年 1 月）は当直しない時短勤務でしたが重症児を数多く受け持って下さいました。院内初期研修は 1～2 ヶ月間で鹿島健幹、井手香甫、川口恭央、太田萌の 4 名。千葉医療センター初期研修医の坂崎仁美先生は H29 年 6 月～7 月研修されました。

## 3 業務実績

### 1) 陽圧換気例増加

平成 29 年 1 月～12 月の入院数は 269 名で前年より 18 名減少しました。院内出生は 208 名で入院の 77.3%でした。出生体重 1000g 未満は 13 名と前年より 5 名減少、1000～1499g は 22 名で 6 名減、死亡は 1 名でした。

気管内挿管での人口呼吸管理は 34 名、陽圧換気は 96 名と前年と同様に多く SiPAP は不足状態でレンタル使用しました。気道病変患者増加のため、女子医大東医療センター長谷川久弥教授の往診は 7 回ありました。

### 2) 入院依頼 82.8%に対応

院外からの入院依頼は 224 件あり、2 件は往診での新生児救急搬送。児の直接入院 61 件と母体搬送等 151 件、合わせて 212 件、依頼の 94.6%に対応できました。当院への入院不能は 12 件、依頼の 5.4%に対応できませんでした。

# 平成29年(2017年)入院状況

作成: 2018年4月23日

1) 総入院数 **269 名**  
 \*院内 208 名 77.3%

\*院内にて出生後、NICUもしくはGCUへ入院(再入院1名含)

出生体重	入院数	死亡数
~999g	13	1
1000~1499g	22	0
1500~2499g	152	0
2500g~	82	0
<b>合計</b>	<b>269</b>	<b>1</b>

平成28年 (前年比)	総入院数	287 名 (93.7%)
	院内	231 名 (90.0%)

当院受診(非紹介)	15	*初診時より当院にてフォロー
母体搬送	84	
産科外来紹介	107	
未受診	2	
<b>合計</b>	<b>208</b>	

在胎	入院数	死亡数
22~24週	0	0
25~27週	9	1
28~32週	41	0
33~36週	112	0
37週~	106	0
不明(未受診)	1	0
<b>合計</b>	<b>269</b>	<b>1</b>

	使用人数	日数	平均/日数	平均/入院
人工呼吸器管理(IMV)	34	353	10.4日*①	12.6%
CPAP,DPAP	96	1557	16.2日*①	35.7%
サーファクタント	27			10.0%

\*①(日数/使用人数)

\*②(使用人数/総入院数)

2) 入院依頼(院外より) **224 件**

\*院外での出生児、出生後に当院NICUもしくはGCUへ入院

平成28年 (前年比)	入院依頼	255 件	87.8%
----------------	------	-------	-------

①入院 **61 件**  
 27.2% (入院/入院依頼)

平成28年 (前年比)	入院	56 名 (108.9%)
	入院/入院依頼	20% + 7.2%

救急車	59	*出産施設の医師または看護師助産師が付き添って救急車にて当NICUに入院した症例
自家用車	0	*出産施設の医師または看護師助産師が付き添って自家用車にて当NICUに入院した症例
新生児救急搬送	1	*出産施設ですでに出生している重篤な児を当院新生児医師と看護師が救急車で迎えに行きNICUに搬送した症例
分娩立会+搬送	1	*新生児医師と看護師が救急車で出産施設に向き、分娩に立ち会ったうえでNICUに搬送した症例
三角搬送	0	*医師が救急車等で依頼元医療施設へ行き、新生児と同乗してほかの医療施設へ搬送した症例
<b>合計</b>	<b>61</b>	

②他科収容・相談など **151 件**  
 67.4% (他科収容・相談等/入院依頼)

平成28年 (前年比)	他科収容・相談など	155 名 (97.4%)
	他科収容・相談等/入院依頼	59.2% + 8.2%

当院へ母体搬送	125
未受診・当院へ搬送	3
相談のみ/紹介医にて治療	19
外来受診(外来紹介)	2
その他	2
(当院小児科)	2
(発達外来)	0

③入院不能 **12 件**  
 0.9% (当院満床/入院依頼)  
 4.5% (その他/入院依頼)

平成28年 (前年比)	入院不能	44 名 (+32名)
	当院満床/入院依頼	14.1%
	その他/入院依頼	3.1%

<b>他院収容(当院満床)</b>	<b>2</b>
(産科)	0
(新生児科)	2
(両科共に満床)	0
<b>その他</b>	<b>10</b>
(22週未満)	1
(23週未満)	1
(脳外科のある病院へ)	1
(N対応できる医師いない)	4
(MRSA入院制限中)	3

#### 4 1年間の総括

- 8月にMRSA保菌者が増加し真ん中の部屋GCU10床を9月まで増設しました。
- 1500g未満児の入院中、第2NICUとしてリハビリが開始されました。
- 平成29年10月1日よりNICU6床増床し、NICU21床・GCU25床、計46床となりました。
- 医師5名で当直を回してきましたが、10月より小児科廣瀬陽介先生が加わりました。

※8・9月に動脈管結紮術3例を、こども病院 循環器科・青木満先生と齋藤友宏先生往診にて執刀して頂きました。

#### 5 今後の目標

今後も入院依頼の収納不能17%以下目標が継続できるよう医師の確保・育成に力を注ぎたいと考えています。